

システム復元ガイド

1 システム復元ツールのバックアップをとる

パソコン本体には、システムやアプリケーションを購入時の状態に復元するためのシステム(リカバリツール)が内蔵されています。^{リカバリ}「Recovery Disc Creator」^{ディスク}を使ってリカバリディスクを作成し、^{クリエイタ}あらかじめ、システム復元(リカバリ)ツールのバックアップをとっておくことをおすすめします。

お願い

「Recovery Disc Creator」を使ってリカバリディスクなどを作成するときは、他のアプリケーションソフトをすべて終了させてから、行ってください。
また、「RecordNow!」をアンインストールした場合は、「Recovery Disc Creator」が使用できません。必ず、「RecordNow!」をインストールした状態で行ってください。

システム復元(リカバリ)ツールは、DVDメディアにバックアップをとることができます。

参照 → 使用できる DVD メディアについて
『応用にチャレンジ 1 章 本体の機能』

【必要なもの】

- 書き込み可能な DVD メディア 1 枚

参照 → 書き込み可能な DVD 『応用にチャレンジ 1 章 本体の機能』

1 起動方法

- 1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[リカバリメディア作成ツール]をクリックする

「Recovery Disc Creator」が起動します。



(表示例)

2 リカバリディスクを作成する

1 [名前] で作成するディスクをチェックする ()

チェックボックスにチェックがついているディスクを作成します。作成する必要のないディスクは、チェックをはずしてください。

2 バックアップをとる DVD メディアをセットする

3 [書込み] ボタンをクリックする

書き込みが開始され、[進捗状況] に「ディスクに書込み中...」と表示され、画面下に残りの時間が表示されます。

書き込みを途中で中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

4 メッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする

書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

5 [閉じる] ボタン () をクリックする

[Recovery Disc Creator]画面が閉じ、ディスクの作成を終了します。

作成したリカバリディスクは、大切に保管してください。紛失してしまった場合は、東芝 PC ダイアル (『困ったときは 1 章 1-② 東芝 PC ダイアル』参照) にご相談ください。

リカバリディスクからシステムを復元する操作手順については、「②-1- リカバリディスクからシステムを復元する」を参照してください。

2 システムを復元する

システムを復元する方法を説明します。手順をよく確認してから行ってください。

1 操作手順

システムを復元するには、ハードディスクから行う方法とあらかじめ作成したリカバリディスクから行う方法の2つがあります。

参照▶ リカバリディスクの作成

「**1** システム復元ツールのバックアップをとる」

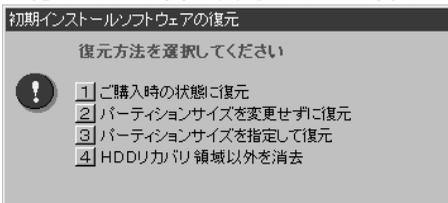
通常は、ハードディスクからシステムを復元してください。ハードディスクのリカバリツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクからシステムが復元できなかった場合などは、リカバリディスクからシステムを復元することをおすすめします。

【ハードディスクからシステムを復元する】

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 ACアダプタと電源コードを接続する
- 3 パソコンの電源スイッチを押し、電源を入れた直後（起動時）に**⓪**（ゼロ）キーを押す

[初期インストールソフトウェアの復元] 画面が表示されます。

4 実行したい項目の番号のキーを押す



それぞれの項目の意味と動作は、次のようになります。

選択項目	説明	選択した後の動作
①を選択した場合	パソコンを購入したときの状態（パーティションが1個の状態）に戻します。作成したデータや設定した項目、インストールしたアプリケーションなどは、すべて消失します。	「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。手順5に進んでください。

<p>②を選択した場合</p>	<p>前回「③パーティションサイズを指定して復元」を選択して再セットアップをしている場合に使用します。</p> <p>複数に分割したパーティションの、Cドライブを購入時の状態にします。その他のパーティションでは、購入後に入力したデータや設定をそのまま保持します。</p>	<p>「先頭パーティションのデータは、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。手順5に進んでください。</p>
<p>③を選択した場合</p>	<p>[マイ コンピュータ] のCドライブ (ハードディスク) のパーティションのサイズを変更して、Cドライブを購入時の状態にします。作成したデータや設定した項目、インストールしたアプリケーションなどは、すべて消失します。再セットアップ終了後は、Cドライブだけ表示されます。管理ツールで設定すると、C以外のパーティションもドライブとして表示できます。</p> <p>管理ツールでの設定方法の詳細は「本項 4 パーティションを設定する」を参照してください。</p>	<p>「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。</p> <p>① (Y)キーを押す [パーティションサイズの指定] 画面が表示されます。</p> <p>② (←)(→)キーを使ってパーティション (Cドライブ) のサイズを指定する</p> <p>③ (ENTER)キーを押す 「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。手順6に進んでください。</p>
<p>④を選択した場合</p>	<p>この項目は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏洩を防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、再セットアップ用のデータ領域以外のすべてのデータが削除されます。</p>	<p>「HDD リカバリ領域以外は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。</p>

メモ

システムを復元する場合、通常は②を選択してください。事前に分割した、Cドライブ以外のパーティションにデータがある場合、手順4で②を選択すると、他のパーティションのデータを残して、Cドライブのシステムだけを復元できます。ただし、BIOS情報やコンピュータウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、Cドライブ以外のパーティションにあるデータも使えないことがあります。

5 Yキーを押す

処理を中止する場合は、Nキーを押してください。
「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。

メモ

再セットアップ用のデータ領域が確保されているため、ハードディスクの100%を使用することはできません。

手順4で④を選択した場合は、「HDDリカバリ領域以外は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。Yキーを押し、データ消去方法を選択する画面が表示されたら目的に合わせて①または②キーを押してください。数時間かかりますが、HDDリカバリ領域以外のデータは消去されます。データ消去はこれで完了です。

6 Yキーを押す

処理を中止する場合は、Nキーを押してください。
復元が実行されます。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

7 何かキーを押す

システムが再起動します。

8 Windowsのセットアップを行う

 詳細について『さあ始めよう 1章 3 Windowsのセットアップ』

購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう1度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行ってください。

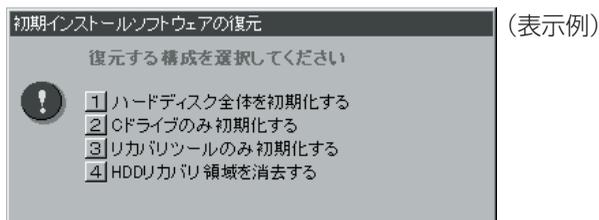
▶ 参照 周辺機器の接続『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』

【リカバリディスクからシステムを復元する】

- 1 ACアダプタと電源コードを接続する
- 2 リカバリディスクをセットして、パソコンの電源を切る
- 3 パソコンの電源スイッチを押し、電源を入れた直後（起動時）に **F12** キーを押す
- 4 **↑** または **↓** キーで [2.CD-ROMドライブ] を選択し、**ENTER** キーを押す

[初期インストールソフトウェアの復元] 画面が表示されます。

5 実行したい項目の番号のキーを押す



それぞれの項目の意味と動作は、次のようになります。

選択項目	説明	選択した後の動作
①を選択した場合	パソコンを購入したときの状態に戻します。作成したデータや設定した項目、インストールしたアプリケーションなどは、すべて消失します。	「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

②を選択した場合	Cドライブだけをパソコン購入時の状態に戻します。複数にパーティションを分割している場合は、その他のパーティションでは、購入後に入力したデータや設定をそのまま保持します。	「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
③を選択した場合	リカバリツールだけをパソコン購入時の状態に戻します。	「よろしいですか？」というメッセージが表示されます。
④を選択した場合	ハードディスク上の再セットアップ用のデータ領域（リカバリ領域）だけを削除します。リカバリディスクの作成前にリカバリ領域を削除すると、購入時のシステムを復元できません。	「HDD リカバリ領域の内容はすべて消去されます！ 本当によろしいですか？」というメッセージが表示されます。

6 (Y)キーを押す

処理を中止する場合は、(N)キーを押してください。

復元が実行されます。画面下のバーは進行状況を示しています。

7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元が終了すると、メッセージが表示されます。

手順5で④を選択した場合は、「パソコン本体の電源スイッチで、電源を切ってください。」というメッセージが表示されます。電源スイッチを押して終了すると、リカバリ領域の消去は完了です。

8 メディアを取り出し、(ENTER)キーを押す

システムが再起動します。

9 Windows のセットアップを行う

 詳細について『さあ始めよう 1章 3 Windows のセットアップ』

メモ

- Windows のセットアップ後、パソコンの診断／環境設定が自動的に行われます。メッセージに従って操作してください。
- 一部のアプリケーションは、システム復元後にアプリケーションのインストールをする必要があります。パソコンの診断／環境設定が終了すると、アプリケーションをインストールするための画面が表示されますので、続けてアプリケーションをインストールしてください。

 参照 詳細について

『困ったときは 4章 2-②-2 アプリケーションをインストールする』

- ウイルスチェックソフトをインストールする場合は、表示されるメッセージに従って行ってください。

dynabook WX/3シリーズ システム復元ガイド

平成16年8月11日

第1版発行

PM0019448010

発行 株式会社 **東芝** PC&ネットワーク社

PC第一事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1